

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む）の所有状況

調査票 P10

【7】建物及び構築物

番号	名称等	種類 コード	構造 コード	新築 中古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤 強化準備金 (円) 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 (円) 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 (円) 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	食用米 負担 割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月						異動 コード	異動に伴う発生金額 (円) 売却金額、取り壊しの金額
1	納屋	36	〇	〇		2005	9	130,000		50,000		75		
2	車庫（4戸で共同所有）	85	〇	〇		1980	8	130,000				75		
3	ビニールハウス（育苗用）	127	〇	〇		2015	2	300,000	300,000			75		
15	納屋（新築）	36	〇	〇		2019	7	300,000				75		

負担割合の変更の例

共同所有の例

準備金
使用の例

建物等の取得年月と取得価格（自動車、農業機械も同様）

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表

コード 事業区分 資産区分	資産名称						取得価格	普通償却額	売却価額
	摘要						交付金等	割増特別償却額	売却損益
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	差引取得	当期償却費計	当期償却費計	期首帳簿価額
	売却除去日	事業専用	数量	残存 1	残存 2	償却基礎金額	償却費累計	償却費累計	期末帳簿価額
1 農業 建物	納屋					130,000			
	2005/9								

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」「車修繕費」等を設定しています。
ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て稲作で負担したと見なしています。

損益計算書

勘定科目	全部門		繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
	繰越	繰越					
〔経常損益の部〕							
〔生産原価〕							
修繕費						170,000	
建物修繕費						50,000	
農具修繕費						50,000	
車修繕費						70,000	

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

調査票 P11

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

番号	名 称 等	種類 コード	型式 コード	新 品	古 中	耐用 年数 (年)	取得年月		取 得 価 額 (円) 購入金額から補助金を控 除した額を記入してください。	修 繕 費 (円) 当年の当該自動車等の 修繕費を記入してくださ い。	自動車保険料 (円) 当年の当該自動車 等の保険料を記入し てください。	自動車・ 軽自動車税 (円) 当年の当該自動車 等の自動車税又は軽 自動車税を記入して ください。	当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		食用米 負担 割合 (%)	年 内 異 動 状 況	
							年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異 動 コ ー ド	売 却 金 額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、「0（ゼロ）」
1	軽トラ	11	00	○	○	3	2014	4	850000	500000	350000	40000	265000	66000	60		
2	普通乗用車	22	00	○	○		2013	1	1500000	200000	400000	450000			30	1	500000
15	貨物トラック (4戸で共同所有)	13	00	○	○		2019	3	3800000		3500000	115000			60		

取得年月と取得価格

本マニュアルP26と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を参照します。
建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

損益計算書		稲作部門				
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)	
[経常損益の部]						
[生産原価]						
修 繕 費				170,000		
建物修繕費				50,000		
農具修繕費				50,000		
車修繕費				70,000		

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、租税公課の補助科目として「自動車税」等を、損害保険料の補助科目として「自動車保険料」を設定しています。
ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

損益計算書		全部門				
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)	
【販売費一般管理費】						
租税 公課				335,100		
固定資産税・建物				65,000		
軽・自動車税				49,000		
自動車重量税				26,500		
自賠責保険				6,600		
損害保険料						
自動車保険料				75,000		

【9】農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況

調査票 P12

【9】農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況

番号	名称等	種類 コード	型式 コード	新 品	古 中 古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) (購入金額から補助金を控 除した額を記入してください。)	農業経営基盤 強化準備金 (円) (農業機械の購入のために取 り崩した準備金の額を記入し てください。)	修繕費 (円) (当年の当該農業機械や 生産管理機器の修繕費を 記入してください。)	保険料 (円) (当年の当該農業機 械の保険料を記入し てください。)	軽自動車税 (円) (当年の当該 農業機械の軽 自動車税を記 入してくださ い。)	食用米 負担 割合 (%)	年内異動状況	
							年 (西暦)	月							異 動 コ ード	売却金額 (円) (廃棄(無償譲渡を含む。)した 場合は、0(ゼロ))
1	トラクター	43	00	○	○	4	2000	3	51000000				2400	60	2	0
2	トラクター（リース）	43	00	○	○		2017	3	58400000		500000		2400	60		
3	田植機（4戸で共同所有）	133	00	○	○		2005	5	70000000				600	80		
15	自脱型コンバイン	202	00	○	○		2019	8	83000000	50000000			2400	60		

廃棄等の例

リースの例

購入の例

農業機械等の取得年月と取得価格

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表							
コード 事業区分 資産区分	資産名称					取得価格	
	摘要					交付金等	
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	差引取得	
	売却除去日	事業専用	数量	残存 1	残存 2	償却基礎金額	
1 農 業 農業機械	トラクター					5,100,000	
	2000/3						

修繕費

ダイレクトメニューで
【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】
と進みます。合計残高試算表の決算・稲作部門
・損益計算書を参照します。

損益計算書		稲作部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
修繕費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

軽自動車税

租税公課の補助科目として設定した、
軽・自動車税を参照します。
ただし、合算されている場合は、元帳に遡って
詳細を確認します。

【10】 農具の購入費等

調査票 P13

【10】 農具の購入費等

・ 農具・農業被服等の購入費

名 称 等	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	55,000	7.3	
農具・農業被服等の購入費			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

・ 生産管理関係の費用

名 称 等	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	44,000	9.0	
生産管理関係の費用			【購入費】 ・コピー用紙、プリンター、トナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費

農具・農業被服等の購入費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「農具費」と「作業用衣料費」の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て稲作で負担したと見なしています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
農 具 費				4,000	
作業用衣料費				1,500	

生産管理関係の費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「研修費」、「事務消耗品費」及び「通信費」等の勘定科目がありますので、

そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て稲作で負担したと見なしています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
旅費交通費				0	
研修費				15,000	
接待交際費				0	
事務消耗品費				1,000	
通信費				28,000	
新聞図書費				0	